



ぬさざき
麻崎神社
(津山)

津山総合支所の東隣に麻崎神社があります。この神社は、柳津村・黄牛村と横山の北沢村・南沢村の四カ村を流れていた小麻川（現南沢川）を、灌漑用水として使うため、締め切つてできた締切沼の守護神として祀られました。当初は、締切沼山岬の麻崎（現幣崎）に建立。大山祇神・月読命・保食命を祀り「神三権現」と呼ばれ、四カ村および桃生郡十カ村の総鎮守・五穀豊穡の神として広く信仰されました。享和2年（1802）の水害により、神器・書類を流失しましたが、神璽は無事でした。その後、柳津町字宮下の神山権現山に再建立され、明治4年（1871）に、「権現」の号を改め「麻崎神社」としました。北上川改修が進められると、柳津の市街地移転で大正11年（1922）10月、現在の地に遷宮。春と秋に行われる例大祭は、毎年多くの人でにぎわいます。麻崎神社がある天神山の山頂からは、柳津の街並みや雄大な北上川の流れが一望でき、山の中腹にある東屋周辺は、美しい桜が咲き誇る名所としても知られています。

【所在地】〒986-0401 登米市津山町柳津字本町216番地
【問い合わせ】麻崎神社 ☎ 0225 (68) 2157

無事でした。その後、柳津町字宮下の神山権現山に再建立され、明治4年（1871）に、「権現」の号を改め「麻崎神社」としました。北上川改修が進められると、柳津の市街地移転で大正11年（1922）10月、現在の地に遷宮。春と秋に行われる例大祭は、毎年多くの人でにぎわいます。麻崎神社がある天神山の山頂からは、柳津の街並みや雄大な北上川の流れが一望でき、山の中腹にある東屋周辺は、美しい桜が咲き誇る名所としても知られています。

歴史博物館

広報ミニ展示室 21

登米市の偉人伝③ 半田卯内

半田卯内は迫町佐沼の出身。明治8年にハリストス正教（ロシア正教）の洗礼を受け、その仲間らと佐沼広通社を興すなど、先駆的な活動を行っていました。明治41年に、第10代登米郡長に就任。大正11年まで務めました。郡長時代に行った中田沼開墾は、たびたび洪水に見舞われたにもかかわらず、「郡治百年の大計」だとして完成させ、そこから得た利益の一部は仙北鐵道敷設にも使われました。さらには、高石排水事業、旧制佐沼中学校（現佐沼高等学校）寄宿舎建設、登米郡史の発刊など地域の発展に尽力。現在は鹿ヶ城跡に有志らによって再建された、北村西望作の胸像と偉業を称える石碑が残されています。



半田卯内
(登米市歴史博物館所蔵)

第30回 **佐沼どんと祭**

1/14(月)

場所 羽黒神社、津島神社

裸参り◎午後6時30分～
点 火◎午後7時～

※当日は午後6時から8時までの間、一市・八日町通りの車両通行はできません。車でお越しの際は、登米合同庁舎駐車場をご利用ください。

【問い合わせ】登米中央商工会 ☎ 0220 (22) 3681



米川の水かぶり

2/12(火)

- ◆とき 午前9時～11時
- ◆ところ 東和町米川市街地、大慈寺山門前広場

◆問い合わせ
東和総合支所地域生活課
☎ 0220 (53) 4111

